



# し せい 至 誠

生徒指導部だより

種子島中央高等学校生徒指導部 12月号

平成26年12月24日

## 1 情報化社会の中で生きる

現代は、「情報化社会」と言われます。その状況は、インターネットの普及により、ますます加速しています。携帯電話やパソコンに限らず、ゲーム機等でもインターネット接続が可能のため、その影響は中学生さらには小学生にまで及んでいます。

人間は、あらゆる新しい“モノ”を創り出し、進化させてきました。それらの“モノ”は、私たちの生活にある意味では豊かにし、便利にしてくれます。しかし、多くの人が気付いているように、便利な“モノ”ほど、大きな“負”の一面も必ず持っています。私たちは、“自分”をしっかり持ち、**「判断する力」「モノ」を見極める力**を身につけるために、日々勉強しているのだと思います。

東京大学名誉教授(専門:解剖学)の養老猛司(ようろう たけし)さんが、著書『「自分」の壁』の中で、書いています。

### 第9章 あふれる情報に左右されないために

#### 純粋さの危うさ

今の若い世代は、かなりの時間をパソコンやケータイに費やしています。今後もその傾向が強まることはあっても、逆はないでしょう。

それについて、いいとか悪いとかいうつもりはありません。「若い者はネットばかりやっていて、人と接しない。新聞も本も読まない。」などと嘆いても、あまり意味がない。なぜならこういう傾向が強まるという流れはおそらく変わらないからです。

パソコンやケータイに限らず、人は便利なもの、面白いと思うものに慣れていく。日本のアニメやゲームがアフリカの奥地まで浸透していきました。こういう流れは、逆に戻すことはできないものです。それを知ってしまうと、もうそれ以前には戻れません。

ただ、考えておいたほうがいいのは、ではそれによって**人がどう変わるのか**、という点です。

容易に想像できるのは、人と直面するのが苦手な人が増えるということでしょう。これはすでによく指摘されています。画面に向き合っている時間が増えれば、必然的に他の時間は減る。減る中には、人と接する時間が含まれています。フェイスブックやツイッターを活用することで、以前よりもかえって人と会うようになった、という人もいるでしょうが、大筋としては減るはずです。

「たいていの用件はメール等で済んだから、別にいちいち会う必要はないでしょう」そういう人もいることでしょう。でも、人と生で接することと、ネット経由で交流することを同じにできません。

生でつきあうと、相手の固定したイメージを持ちづらくなります。「この人はこういう人だ」と決め付けても、その固定観念は往々にして裏切られます。ごく簡単な例でいえば、写真で見て「ものすごい美人だ」と思っていたのに、実際に生で見れば、それほどでもなかった、なんてことはあるでしょう。

寝起きの顔を見て幻滅するのは、相手について「きちんと化粧した顔」のみをイメージした場合に起きる事態です。しかし、生身の人間ならば、きちんと化粧をしていない状態があるのは当たり前です。

ネット経由のつきあいにおいては、どうしても「ノイズ」が消えていくということになります。より純粋志向になっていく、といえます。ケータイやネットでの交流が主になっている人は、生の人づきあいを「ピュア(純粋)ではない」と感じるようになるのではないかと、いう気がします。もともと若い人は純粋志向があるので、そういう傾向が強くなる。

純粋といっても、この場合かならずしもいい意味で言っているわけではありません。

(養老猛司 著:『「自分」の壁』より)

## 2 飲酒と喫煙について

みなさんご存じのとおり、未成年者の「飲酒」と「喫煙」については、法律で禁止されています。具体的には「未成年者飲酒禁止法」及び「未成年者喫煙禁止法」という法律になります。

### 未成年者の飲酒は…

#### ■脳が萎縮したり発達の妨げになる

10代から飲酒を続けている人たちのなかには、すでに20代で脳の萎縮が始まっている例がみられます。発達途上の脳細胞は、より強くアルコールの影響を受けやすいからです。

#### ■アルコール依存症になりやすい

大人の場合、大量飲酒を20年以上続けるとアルコール依存症になる危険性が高まると言われていますが、未成年者の場合には、数ヶ月から2年という短期間でも発症することがあります。

#### ■性機能の正常な発達を妨げる恐れがある

アルコールは、男性性器の発育を妨げる危険があります。また女性の場合には、生理が不規則になり、無月経になることもあります。

#### ■臓器障害の危険性が高まる

未発達な臓器は、アルコールに対する耐性が弱く、短期間で障害を受ける可能性が高まります。  
(「サントリー」ホームページより)

### 未成年者の喫煙は…

#### ■精神的にも肉体的にも依存を作り出す

心身ともに成長期にある未成年者は成人よりもタバコの害を多く受けます。タバコは発育障害を引き起こします。タバコの煙に含まれる何千種類に及ぶ化学物質を貪欲に取り込み、最悪の環境にも適応しようとするのです。

#### ■ガンリスクも急上昇！

未成年から喫煙しはじめると肺ガンや食道ガン、胃ガンなどの各種のガンにかかりやすくなります。心筋梗塞や脳梗塞などに関しても同様です。喫煙開始年齢が早いほど肺気腫、慢性気管支炎などの呼吸器疾患や動脈硬化といった病気にかかりやすくなります。10代でタバコを吸い始めた人が肺ガンで死亡する可能性は、成人後の喫煙者と比べても危険率は最大4倍です。非喫煙者と比べると喫煙者が肺ガンで死亡するリスクは6倍にまで跳ね上がります。

## 保護者の方へ

「子どもでも少しの飲酒なら構わない」とか「タバコは外で吸わなければいい」といった間違った考えを持たれている方がいるかも知れませんが、子どもの身体に及ぼす悪影響や、飲酒・喫煙が非行の入り口となったり、事件・事故の引き金となる場合があることを認識していただき、子どもが納得するような教育・指導をお願いします。

## 3 今後の主な日程

- 12月25日(木)、12月26日(金)、1月5日(月) 冬季補習
- 1月8日(木) 始業式・大掃除・課題考査①・頭髪・服装指導
- 1月9日(金) 課題考査② ○1月10日(土) 土曜講座(1・2年)
- 1月16日(金) 熊毛地区高校総合文化祭(種子島こり～な)
- 1月26日(月)～1月29日(木) 卒業考査(3年)

